

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第3部門第2区分
【発行日】平成29年6月15日(2017.6.15)

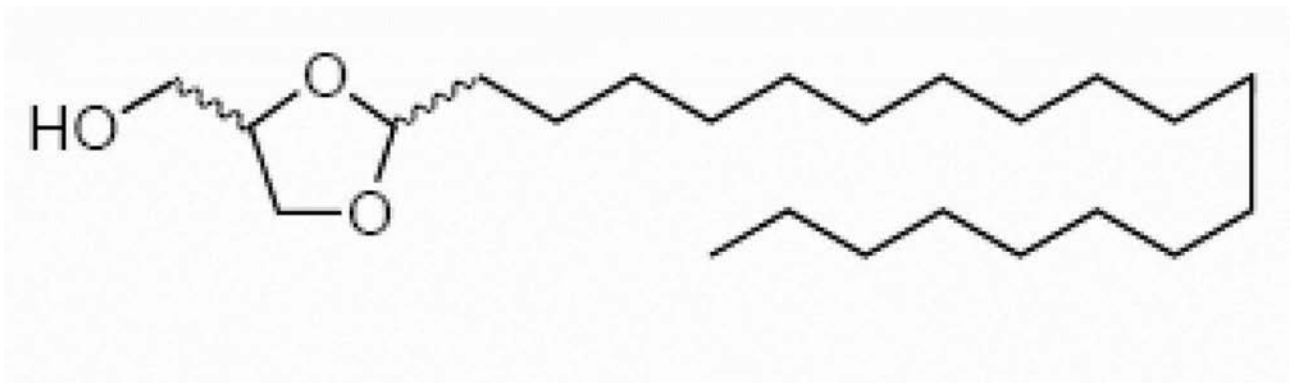
【公開番号】特開2016-138150(P2016-138150A)
【公開日】平成28年8月4日(2016.8.4)
【年通号数】公開・登録公報2016-046
【出願番号】特願2016-95437(P2016-95437)
【国際特許分類】

C 0 7 D 317/20 (2006.01)
A 6 1 K 31/357 (2006.01)
A 6 1 K 35/618 (2015.01)
A 6 1 P 1/16 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 317/20 C S P
A 6 1 K 31/357
A 6 1 K 35/618
A 6 1 P 1/16

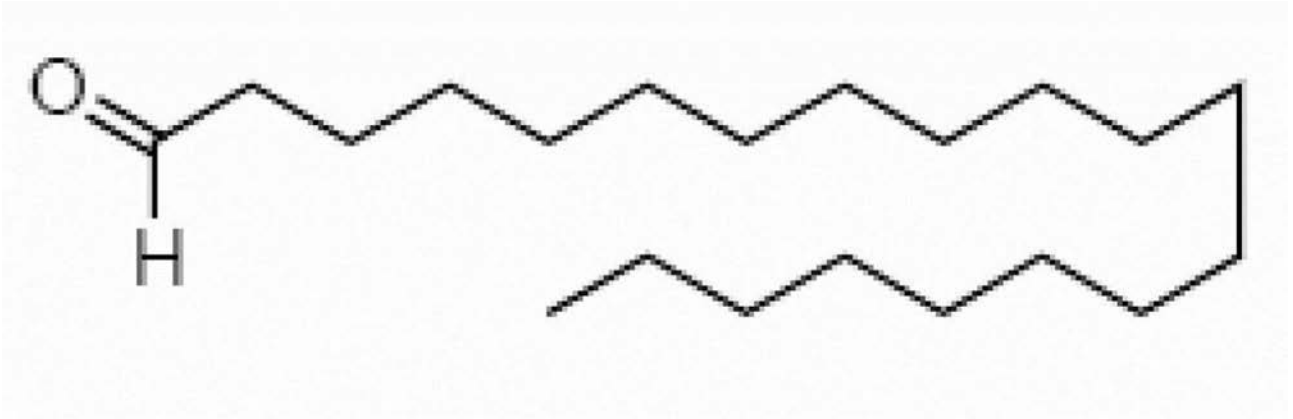
【手続補正書】
【提出日】平成29年4月26日(2017.4.26)
【手続補正1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項1】
【化1】



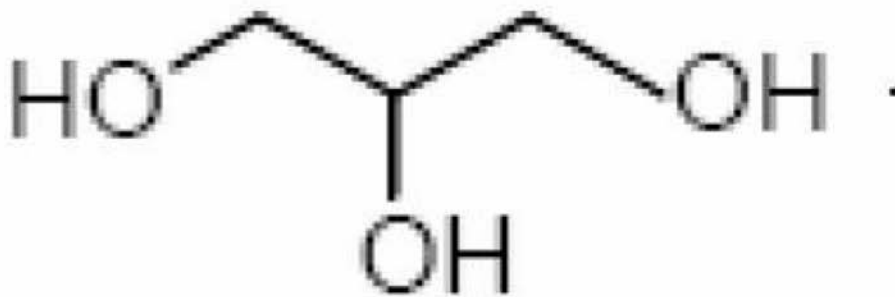
化学式 (I)

化学式 (I) の化合物またはその医薬的に許容可能な塩の調製方法において、

【化 2】



化学式 (II)

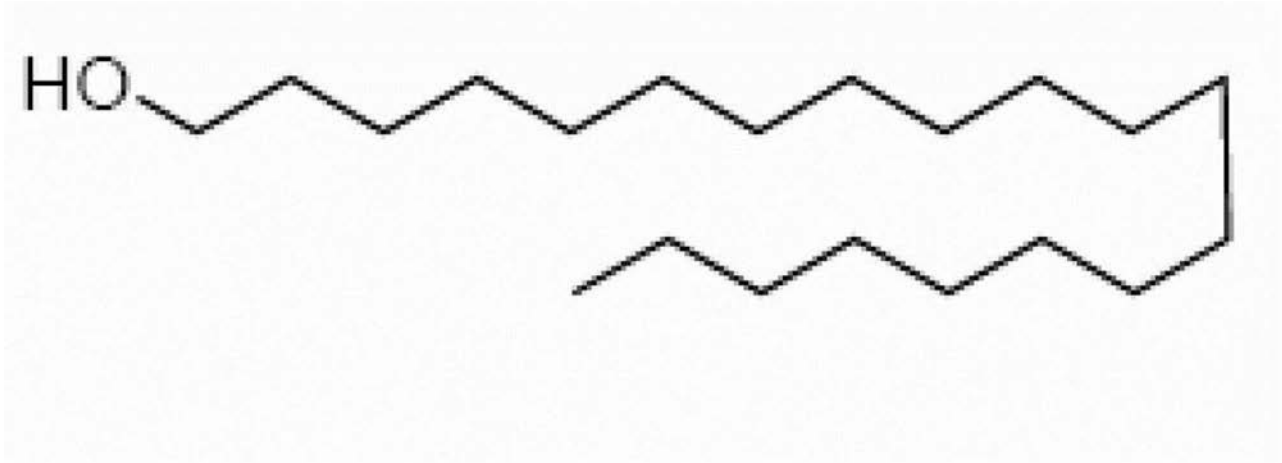


化学式 (III)

化学式 (II) の化合物と、化学式 (III) の化合物をp-トルエンスルホン (p-toluenesulfonic acid、TsOH) の存在下で、3 時間加熱して回流させることにより、アセタール反応させて化学式 (I) の化合物を含む混合物を得ることを特徴とする化学式 (I) の化合物またはその医薬的に許容可能な塩の調製方法。

【請求項 2】

【化3】



化学式 (IV)。

化学式 (II) の化合物は、化学式 (IV) の化合物とクロロクロム酸ピリジニウム (pyridinium chlorochromate) が有機溶媒内で酸化反応を行って得られていることを特徴とする

請求項 1 に記載の調製方法。

【請求項 3】

前記化学式 (I) の化合物を含む混合物は、分離方法によって精製されていることを特徴とする請求項 1 に記載の化学式 (I) の化合物またはその医薬上で受けられる塩の調製方法。